



# 7 サンドクラフト

青森県立種差少年自然の家



## ○活動の概要○

砂を海水で固め、固めた砂を削って「砂の像」を作ります。

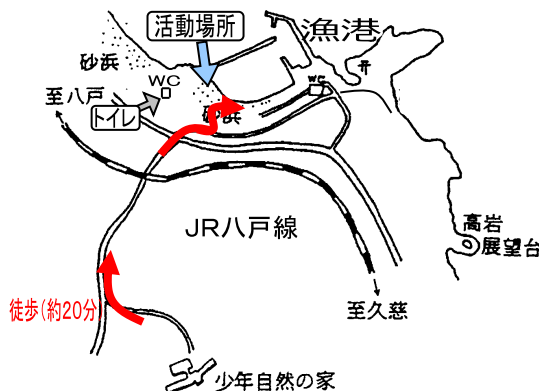
### 1 ねらい

砂像造りを通して、自然の中で砂を使って創作する楽しさを味わうとともに、仲間と協力する気持ちを養います。

(小学校 図画工作 中学校 美術)

### 2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所 八戸南浜漁港(種差・法師浜地区)砂浜
- 人数 120人以内(1グループ3～5人程度)
- ② 期間 4月～10月
- ③ 時間 2～3時間



### 3 職員の支援について

物品貸出し時に職員が説明を行うことができます。活動支援に入ることはありません。

### 4 準備物

区分	準備物	備考
団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急車両</li> <li>・見本となる人形やぬいぐるみなど</li> <li>・トイレットペーパー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補充用トイレットペーパー</li> </ul>
個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぬれてもよい運動靴</li> <li>・タオル、帽子</li> <li>※必要に応じて雨具(雨合羽等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長靴、サンダルは危険。</li> </ul>
自然の家	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆無線機</li> <li>・ハンドマイク</li> <li>・サンドクラフト用具セット (へら大・中、専用青バケツ、穴あきバケツ、地固め棒、スコップ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆必ず持って行ってもらいます。</li> <li>・用具は25セットまで</li> </ul>

### 5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。</li> <li>・緊急時や戻るときに無線機を使って、自然の家まで連絡をする。</li> </ul>
救護係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の救護、搬送にあたる。</li> </ul>

### 6 活動の流れ

- ① 物品の借用・移動
- ② 活動説明(代表責任者)
- ③ 見本を見ながら制作・撮影会
- ④ 移動・自然の家で物品を洗って返却

《資料》

○サンドクラフトの作り方

1 用具の配布と確認

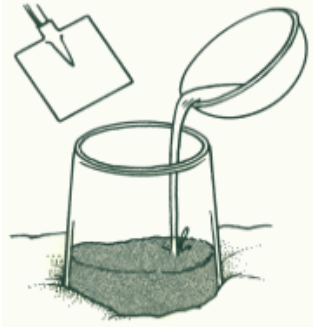
《制作グループ内の役割分担》

- ① 削りと道具管理
- ② 水の管理
- ③ 全体を見てのアドバイス

※ この3つの役割を交代しながら活動します。

2 砂のプリンを作ります

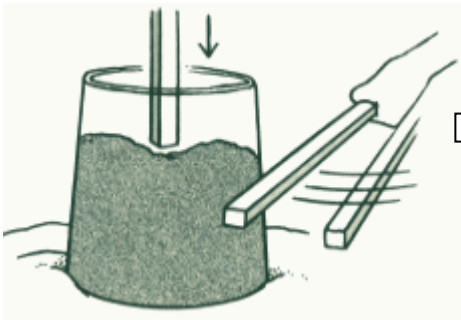
- ① 砂とたっぷりの水を入れます。  
(石が入らないように注意)



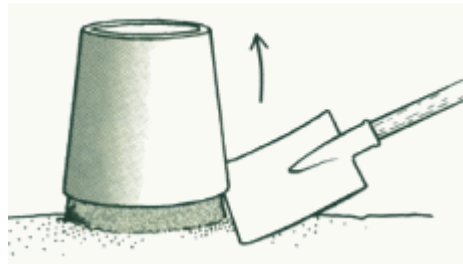
- ② ・スコップでかき混ぜ、ごみを取り除きながら、気泡をぬきます。  
・水が引いたら、地固め棒で砂を固めます。  
・砂の量は、3分の1ぐらいにし、3回に分けて行い、砂をしっかり固めます。



- ③ バケツの周りをスコップの柄や地固め棒で叩き、砂とバケツの間に空気の間をつくります。



- ④ まっすぐにバケツを引き抜くと、砂のプリンが完成します。



3 砂のプリンを削って形を作ります

- ・へらや手で少しずつ削って、自分たちで考えた形を作っていきます。

4 仕上げ

- ・削った砂は、「ふうっ」と吹き飛ばします。
- ・曲面は、手の平でなでるようにして仕上げます。

